

# 近畿地域の地域経済産業調査 (令和3年7月期)

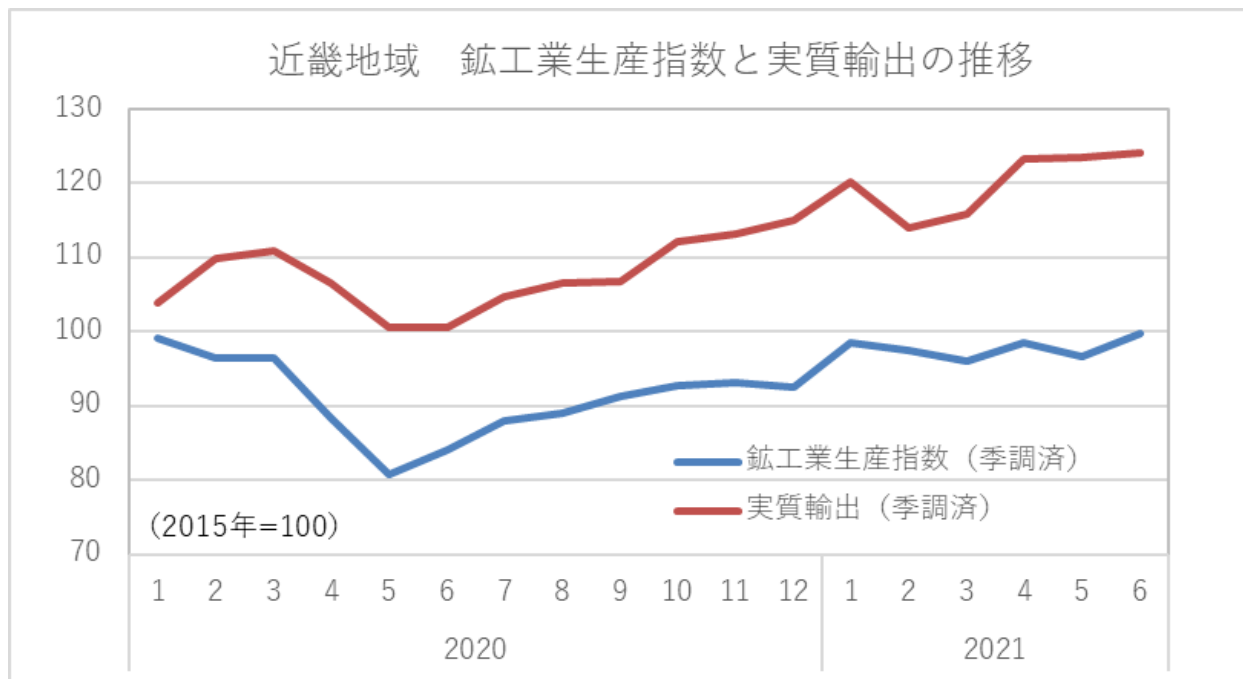
近畿経済産業局 企画調査課

# 項目別の動向

- 生産は、欧米・アジアの景気回復を背景に、建設機械、工作機械、半導体製造装置など多くの分野で好調の声が聞かれたが、航空機や衣料品の分野では不調の声が目立った。また、足下では、半導体不足、コスト高（原材料費・輸送費の高騰）、ASEAN地域での新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）拡大などを懸念する声があった。
- 設備投資は、製造業では、設備の維持更新や能力増強を中心に、新型コロナの影響で先送りしていた投資を再開する動きがみられる。また、脱炭素化やデジタル化関連の投資の動きや、施策を活用して投資を行う動きなどがみられる。非製造業では、サービス関連を中心に、先行きの不透明感等から、設備投資への慎重な姿勢がみられる。
- 雇用情勢は、非製造業では新型コロナの影響による休業や時短営業により小売・外食・レジャー等で余剰感がみられるなか、製造業では生産の回復を背景に人手不足の声が広がっている。新卒採用については、飲食業、観光業などでは採用を縮小する企業がみられる一方、大企業を中心に中長期的な安定のため例年並みの採用を行うとの声もあった。また、技術や専門スキルを持つ即戦力を求め中途採用に力を入れる傾向がみられる。
- 個人消費は、休業や時短営業の影響で厳しい状況だが、百貨店は高額商品やプチ贅沢品が好調。スーパーは巣ごもり需要の継続で飲食料品が好調。家電は巣ごもり需要で高性能・高単価商品が好調、乗用車も密を避けた移動手段として見直され来店客が増えた一方、半導体不足の影響により商品の仕入れや納車に遅れが出ているとの声が聞かれた。旅行や外食については、GoToキャンペーンの中止以降、厳しい状況が続いている。

# 項目別の動向（近畿地域の特徴的な動き）（1）

- 近畿地域の鋳工業生産指数は、新型コロナ拡大前の水準まで回復している。
- この要因として、海外経済の回復を背景とした輸出の増加が一因であると考えられる。
- 今後も、世界的な半導体需要の高まりなどを背景に、生産用機械や電子部品・デバイスを中心として、生産の回復が続くことが期待されるが、半導体不足やASEAN地域での新型コロナ拡大等の影響が懸念される。



【出所】  
近畿経済産業局  
日本銀行大阪支店

## 項目別の動向（近畿地域の特徴的な動き）（2）

### （主なコメント）

- ・ 半導体製造装置関連は好調。堅調な市場が続く見込みだが、部材調達に懸念。半導体需要の伸びに伴い、半導体製造装置に使用する半導体が不足気味。  
【生産用機械器具】
- ・ 5G需要は引き続き旺盛で、米国、アジア（特に韓国）向の部品メーカーへの納入が多い。  
【電子部品・デバイス】
- ・ 2020年は新型コロナの影響によるロックダウン等により市場需要が減少したが、2021年は需要が回復し、売上高は当初想定を上回る見込み。  
【電子部品・デバイス】
- ・ 昨年度後半と比較すると、特に海外市場においてトラクターや建設機材の売上が大きく伸びている。  
【生産用機械器具】
- ・ 中国向けが大量に出ており、特に建設・産業機械向け鋼板が好調。鋼材価格の単価も上がってきている。  
【鉄鋼】（中小）
- ・ 自動車部品用途は回復しているが、半導体不足による生産調整が懸念材料。また、ASEANでの新型コロナ拡大等、今後自動車の生産に急ブレーキがかかるリスクがあり、楽観視できない。  
【化学】

# トピックス：新型コロナの影響

- 新型コロナの影響は、飲食・宿泊・インバウンド関連など引き続き厳しい状況にあるものの、製造業では新型コロナ拡大前の水準まで回復したとの声が聞かれるなど、業種による二極化がみられた。

(主なコメント)

- ・ 営業時間短縮・酒類提供の自粛により、売上に大きく影響が出ている。  
【飲食店】
- ・ 徐々にワクチン接種が進んでいることもあり、観光地にあるホテルは回復傾向にあるが、団体需要は見込めない。また、都市部のホテルは戻りが悪く、引き続き厳しい状況。  
【宿泊業】 (中小)
- ・ テレワークなどによる都市部の人口減少、インバウンド需要の喪失などにより、業況は昨年と比較し苦戦している。  
【各種小売業】
- ・ 新型コロナの影響により、インバウンド需要の消失や輸送人員の減少、緊急事態宣言の発出に伴う商業施設の臨時休館など大きな影響を受けている。新型コロナ長期化により、当初見通しを下回って推移している。  
【鉄道業】
- ・ 昨年上期は新型コロナの影響があり、自動車やスマートフォンなど民生用エレクトロニクス全般での生産の急激な減少があったが、下期以降は市場が回復し、現在は通常に稼働している。  
【非鉄金属】

# トピックス：新型コロナを契機とした新たな取組の動き

## (主なコメント)

- ・ 日本製の製品に対する信頼は引き続き高く、日本で購入していたインバウンド客がECサイトなどを通じて直接購入しており、それらに向けた販促活動や商品の供給を強化していく。 【化学】
- ・ 展示会をWEBで行う取組を進めているが、実際に製品を触ることができないため、事前に送付して商談を進めるなど工夫が必要。 【繊維】
- ・ 自治体からの補助を活用し、ウイルスを不活化させる事業に着手している。技術を世の中に役立てたい。 【電気機器】 (中小)
- ・ 市内の名所に定点カメラを設置し、ライブ映像をインターネットで公開している。コロナ禍において人流分散に役立っている。【その他事業サービス業】
- ・ オリジナルグッズやお菓子等を販売するオンラインショップを展開しているが、コロナ禍において好評を得ている。 【娯楽業】
- ・ 在籍型出向制度を活用し、東京、大阪の大手ホテルから、調理師などを受け入れている。調理スキルを活かしたメニュー開発などを任せている。 【宿泊業】 (中小)

# トピックス：脱炭素化投資等の動向（1）

- 脱炭素化関連投資の動向は、自社の省エネ推進、再生可能エネルギーへの転換、電気自動車（EV）の導入等がみられるほか、脱炭素化に資する技術や製品開発への投資の動きあり。中小企業でも意識の高まりがみられるものの、具体的な取組には至っていないとの声も聞かれた。

## （主なコメント）

- ・ 工場において、バイオマスボイラーの導入を検討しており、工場屋根にはソーラーパネルを設置する予定。 【繊維】
- ・ 生産工程において、熱処理工程を従来のガス燃焼などから電気炉、アンモニア、水素活用にシフトしていく。 【はん用機械器具】
- ・ ゼロカーボン・スチールへの挑戦として、鉄鋼製造プロセスの超革新技術に向けた開発・実機化に取り組んでいる。 【鉄鋼】
- ・ 省エネについては、空調・照明・コジェネ等の高効率化を実施および計画中。再エネについては、自家消費型太陽光発電の導入や再エネ電力メニューへの切替えを実施および計画中。 【総合工事業】
- ・ 新規ホテル建設の際は、太陽光パネルと蓄電池を設置し、災害対応にも役立てたいと考えている。 【宿泊業】（中小）

## トピックス：脱炭素化投資等の動向（2）

（主なコメント）

- ・ カーボンニュートラル社会への貢献として、EV用モーターや高効率な変圧器に必要な電磁鋼板といった高機能商品化に取り組んでいる。 【鉄鋼】
- ・ 社内各拠点でエネルギーをどの程度使っており、CO2をどの程度排出しているかを数値化したところ。まずは、営業車をすべて電気自動車化するべく動いている。 【労働者派遣業】
- ・ 商用車のEV化を実施しており、2025年までには全車移行する予定。 【各種小売業】
- ・ ペットボトルは再生PET樹脂100%のリサイクルを実現。バイオプラスチックの利用も技術開発段階ではあるが取り組んでいる。 【飲料・たばこ・飼料製造】
- ・ 最近SDGsをよく耳にしているが、顧客もカーボンフリーな印刷会社を選ぶ傾向にある。 【印刷・同関連業】（中小）
- ・ 脱炭素化について、社会的な高まりは感じている。ボイラーの燃料を、都市ガスからバイオマスに変えるといったことが考えられるが、コスト面からもすぐに導入するのは難しい。 【繊維】（中小）